



# 緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」  
 ～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

## 平成31年度 全国学力・学習状況調査の結果と分析

4月に行われた6年生のテストの結果が公表され、学校にもその詳細が届きました。この結果については、6年生だけのものではなく、学校全体のこれまでの教え方や、子ども一人一人の学び方や考え方の捉えとして、次に生かしていきたいと思えます。学校では、先生方の仕事の最優先事項として、全学年の学力の向上に本気で取り組んでいきます。

その上で、保護者の皆様には、特に「家庭の家庭学習」として取り組んでいる学力向上作戦をより充実させることをお願いしたいと思います。

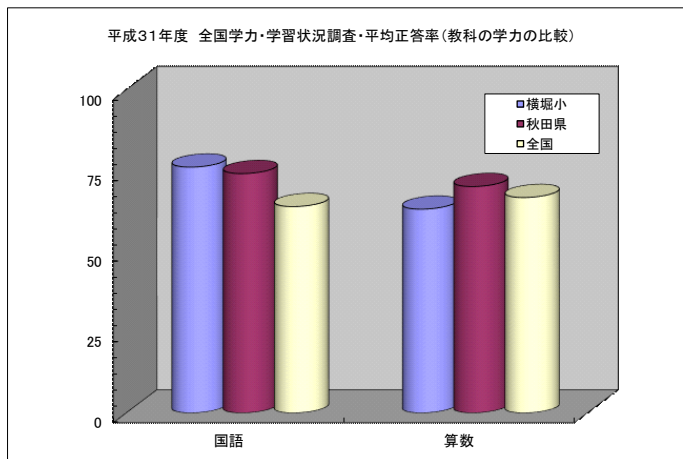
**火曜日と木曜日は すべての家庭でノートチェックを！  
 そして、子どもがやる気になる、うれしいメッセージを！**

よろしくお願いします。

12月には、4年生から6年生まで、県のテストがあります。今度は、国語・算数・理科・社会です。みんなして、横堀の本気の底力を出してみましょう。



さて、今回の6年生の調査について、まずは、国語と算数の結果を分析します。



### 【国語】

全体としては、国・県よりも平均点が高い。いわゆる、おおむね良好と言える状況です。

問題毎に見ると、

- 読む力が高い
- 言語についての知識・理解が高い
- ▲書く力に課題がある
- ▲記述式(文で答えるもの)が弱い



### 【算数】

全体としては、国・県よりも平均点が高い。かなりがんばらなければならない状況です。

問題毎に見ると、

- 図形の力がある
- ▲計算力に課題がある
- ▲数学的な考え方に課題がある



**「国語の書く力を鍛えること」「算数の計算力と考える力を鍛えること」**  
 この2点について授業とスキルアップタイムと家庭学習でパワーアップを図ります。

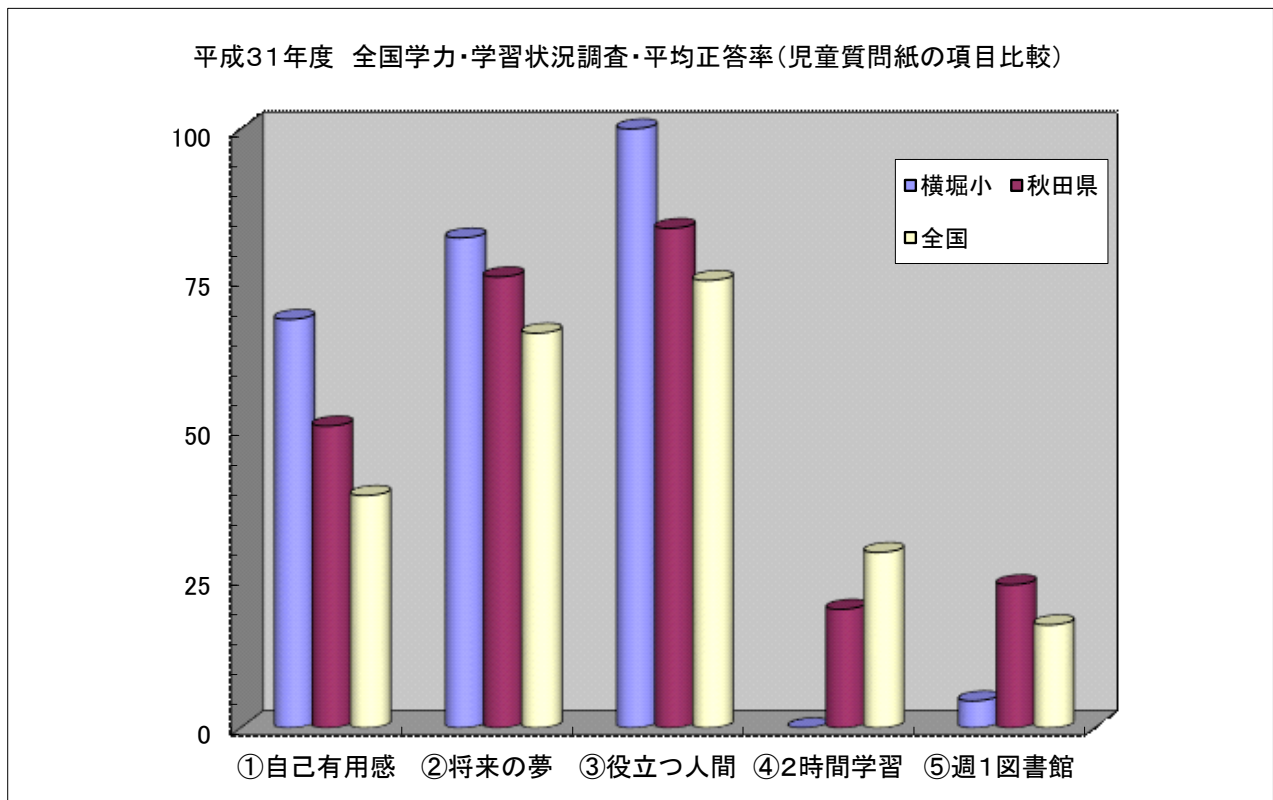
学校では、「自分で考える」「みんなと創る」をキーワードとした授業のレベルアップを図ります。そのためにも、「書く」ことを大切にしていきます。

私が水曜日に見せてもらった家庭学習の内容も、まだまだ簡単なことをやってノートを埋めているだけの子どもが多すぎるようです。算数では、県の単元評価問題や市販の問題集などを利用して、文章問題などの**難問に、もっともっとチャレンジ**させたものです。

また、ドリルを①～⑳まで順番に解いて全部丸になる勉強も気になります。自分の力を伸ばすために必要な問題を自分で取捨選択する力、つまり、**学びを調整する力**も身に付けさせていきたいと考えています。

個々の夢に向かって、まずは近いところの高校入試に向かって、スイッチオン！

こちらは、子どもたちの学校や家での勉強への向き合い方や、自分の人生についての考え方などについて質問紙に回答する調査です。



上のグラフの①～③を総合すると、本校の6年生は、

**自分にはよいところがあるから、  
将来は夢をかなえて人の役に立つ人間になりたい**と強く考えています。

この結果には、とっても驚きました。まさに、望ましい人間形成がされているという証そのものです。これは横堀小学校の最大の強みとして、他の学年にも広げていきたいです。実際、ホールに掲示している自分の夢に向かう学びを本物にしていくことを、ますます大切にしていきます。

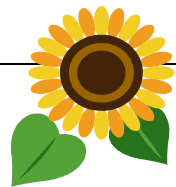
他にも、こんなところが国・県よりもずっと高くなっています。

○家の人と学校のことをよく話す。

○先生は自分のよいところを認めてくれている。  
○先生は、分からないところを分かるまで教えてくれる。

○友だちと話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。  
○学級みんなで話し合って決めたことに協力して取り組んで、うれしかったことがある。  
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

○物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。  
○難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。  
○地域や社会をよくするために、何をすべきか考えることがある。



## 課題は はっきり見える



上のグラフの④と⑤からは課題が明確に見えます。  
2時間以上勉強している人が全国的には1/3近くいます。本校はゼロです。  
読書時間についても、国や県では、1/4くらいの子どもたちが週に1回以上は図書館を利用してはいますが、本校は1人だけです。

**自分の夢を実現できる勉強量を考えて、本や新聞を読む子どもに！**